児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 1 日　　事業所名　ネクストステップ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動場面や利用者の状態に応じて、ホールや個室など使い分けて対応しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			人員基準を満たしマンツーマンに近い形で療育を行っている。曜日によりやや人手が不足することもある為、活動内容を調整し安全に行えるよう工夫しています。	曜日による支援内容の偏りなどがないように、年度代わりのタイミングで利用曜日変更の提案を行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			部屋の使い方をイラストで示しています。また、スケジュールなど分かりやすいよう掲示してあります。必要に応じて、個別対応を行っています。。室内は車いすを利用できるように、バリアフリーになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			部屋によって使用用途を決めて、活動しやすいように環境調整を行っています。利用者の特性を考慮し環境を都度整えています。晴れた日などは外遊びの時間を設けてやりたい事が出来るよう工夫しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			職員で振り返りを行い、共有しています。また、月1回全職員でミーティングを行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者等向け評価表を活用し毎年アンケートを実施しています。その結果を基に、業務内容を見直しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			評価結果をホームページで公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		今後、外部評価受診に向けて検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			社会福祉協議会や県の発達障害者支援センター・外部機関の研修に参加しています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			アセスメントツール活用し、カンファレンスやモニタリングで情報を共有し支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			施設内で作成したアセスメントシートを利用しています。	

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 1 日　　事業所名　ネクストステップ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			ガイドラインを参考にしながら計画を立てています。カンファレンスやモニタリングを通して具体的な目標や支援内容を提示できるように心がけています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			定期的に支援計画を確認しています。個人目標が常に見えるように記録画面に提示しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			月1回以上、保育士・OTで集まり計画の立案を行っています。	多職種の強みを生かし、様々なアイディアを出し合っていきたいと思います。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			実際に行った活動をブラッシュアップしたり、新しい活動の取り組みなどスタッフ同士アイディアを出し合い活動内容をが充実するよう意識しています。	今まではコロナ禍でできなかった事も今後は積極的に実行していく予定です。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			モニタリングを通してアセスメントを行いながら、必要な支援を行えるように個別活動と集団活動を組み合わせるように意識しています。	引き続き、職員間で支援内容について話し合いを行い計画を作成していきたいと思います。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			当日の支援開始前に、活動内容や職員の動きを確認しています。長期休暇期間は、主に事前に書面にて活動内容を共有し支援開始前に最終的な確認を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			担当者同士で支援内容について出来る限り共有するように心がけています。また、集団活動などの振り返りなども合わせて行っています。	

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 1 日　　事業所名　ネクストステップ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			実施した支援内容を記録に残し整備しています。連絡事項や申し送りなどを活用し些細なことでも記録するように心がけています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			カンファレンスを通して利用者の情報共有を行っています。6カ月に1回以上の頻度でモニタリングを行い支援計画の振り返りや修正を行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			会議の内容に応じて、出席者を相談し決めています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			必要に応じて行政機関や発達支援センターなどと情報共有を行っています。適宜、相談支援員や地域の保育園や医療機関と情報共有を行っています。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			該当者がいないため、判断できません。	以前利用されていた方がいるため、それを基に準備をしています。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			利用開始までに、家族を通して主治医に緊急時の対応方法や緊急時の連絡方法を確認しています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			該当者がいないため、判断できません。	以前利用されていた方がいるため、それを基に準備をしています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		地域の小学校へ就学する方（特別支援級や普通級）に対して、ライフブックを作成しています。保護者を通じて情報共有を行っています	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			モニタリングや保育園訪問に同席してもらい保育園での様子や具体的な支援内容について共有し助言を受けています。また、発達支援センターなどの研修に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			感染対策に配慮しながら、施設に併設されている保育施設との交流する機会を設けています。	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			能美市子ども連絡会や事業所連絡会、能美地域自立支援協議会に定期的に参加しています	

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 1 日　　事業所名　ネクストステップ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や送迎時、モニタリングの機会を通して利用時の様子や家庭での様子など情報共有を行うように努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っている	○			姿勢や遊びに関すること、生活場面において出来るようなこと（自助具の提案）など必要に応じて支援を行っています。	引き続き、研修などに参加し困りごとへの対応方法の助言など適切な保護者支援が出来るよう知識を深めていきたいと思っています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用開始前に説明を行っています。また、施設内に掲示しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			ガイドラインの内容を踏まえ児童発達支援計画を立案し保護者から同意を得ています。	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			連絡帳や送迎時、モニタリングなどの場面で適宜対応するように心がけています。	引き続き、支援をしていけるように自己研鑽を行いま
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		○	保護者会を開催し、保護者同士話し合う機会を設けています。	保護者同士が気軽に話やすい場となるように、保護者会の進め方など工夫していきたいと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			早急に対応できるように事業所内で連絡体制を整えています。必要に応じてミーティングを行い職員間で共有しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月「おたより」を発行し、活動内容や予定をお知らせしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			関連機関と情報共有を行う際には、家族に了承を得ています。個人情報が入っている棚は施錠管理を行っています。	

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 1 日　　事業所名　ネクストステップ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			必要に応じて、絵カードやジェスチャーなどを使い意思疎通を図るように努めています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			今年度はコロナ禍のためイベントの開催が難しかったです。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		○	契約時に説明を行っています。また、感染が流行している時期などには感染症にかかった際の対応についてお知らせを渡しています.	定期的に見直しを行っていきたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年に2回以上実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			利用開始時や体調不良があった場合などなど必要時に看護師が確認を行っています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食物アレルギーがある場合には、医師に書類を記載してもらい提出してもらっています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット・事故報告書を作成し、事業所内で共有し対応策を立てています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			石川県主催の研修に参加し伝達講習を行っています。	伝達講習を行う際には実際の現場の中で虐待に当てはまることはないかなど話し合いの場を設けています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			マニュアルに準じて家族への説明・同意を得たうえで計画書への記載を行っています。	